

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立浦和商业高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	専門学科の趣旨や特性を踏まえて、目指す学校像が設定されている。創立90周年を迎えるのを機に、学校に寄せられる期待などを今日的な観点でより広く把握・分析し、新たなステージに向けた学校像を模索していただきたい。その際、学校全体として長期的に何に取り組むのか、何を通じてそれを達成するのかを併せて示すことを検討すると良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	意欲的な重点目標が細部の表現まで配慮して設定されている。今後新たな目指す学校像を検討する場合、中期的な目標として学校像の内容との関連性を意識したものとなるよう工夫するとともに、生徒の実態など学校の状況を踏まえ、重点化することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムをより適切に運営するため、組織間の有機的な連携を強化し、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	全教職員で対応した遅刻指導には大きな成果が見られており、今年度も、模擬試験に関する教職員研修会やインターンシップの試行、保護者と連携しての身だしなみ指導等、方策が着実に実施されている。方策の評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取組の手順を丁寧に教職員に示しながら組織力を高めようとしている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を持って組織的・計画的に教育活動に取り組んだ結果、成果が見られ始めている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	新入生アンケートを新たに実施し、結果を分析して学校自己評価のための情報を収集し、教育活動に活用している。前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしているが、分掌・学年等と学校全体を連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			